

5時間 20分
完全版
上映決定!

震災で追われた人びと。
それぞれに違った涙の色がある――

福島は語る

<完全版>

『沈黙を破る』『異国に生きる』『飯館村』

土井敏邦 監督作品

いまを生きるすべての人たちへ
分断された私たちが綴り続ける27のメッセージ

監督・撮影・編集：土井敏邦 整音：藤口諒太 朗読・題字：高橋長英 写真：森住卓 挿入歌：「ああ福島」(李政美) 後援：城南信用金庫
配給：きろくびと ビカフィルム 2018年/日本/カラー/320分 www.doi-toshikuni.net/j/fukushima/

2019年度
文化庁映画賞
文化記録映画
優秀賞受賞!
(2時間50分版)

2019年 第93回
キネマ旬報ベスト・テン
文化映画 2位!
(2時間50分版)



東日本大震災から8年になる。2020年の東京オリンピックを前に日本中が浮き足立つなか、フクシマは「終わったこと」として忘れ去られようとしている。

しかし、原発事故による放射能汚染で故郷や住処を追われ、生業を失い、家族離散を強いられ、将来への希望を奪われた十数万人の被災者たちの傷は癒えることなく、腫み、疼き続けている。

その被災者たちが心底に鬱積した深い思いを吐露した。100人を超える証言者の中から選び抜いた27の「福島の声」を、いま日本に住むすべての人に届ける。

映画『福島は語る』で、避難を強いられた人たちの生の言葉に触れると、大きな声で叫びたくなります。

原発ゼロで日本経済を再生しよう。

7年の歳月が経ち、福島第一原発の悲劇の記憶が薄れる中、この映画では悲劇が終わるどころか拡散・膨張している現実を思い知らされます。

吉原 毅 (城南信用金庫顧問)

この映画は涙なくして見ることは出来ない。

現在まで続く被害を封じ込めている「沈黙の圧力」とは、鈍感で浅薄な「無関心と忘却」だ。鉄の爪が大地に根ざして生きていた人々を容赦なく襲い、傷つけ、引き裂いた。この暴力に私たちがひとりひとりが加担していないかをこの映画は問いかけてくる。

保坂展人 (世田谷区長 / ジャーナリスト)

広義の意味で人間はつねに「演技」をする生き物だ。カメラ一台を脇に置き、単身で対峙する土井敏邦監督は、インタビューの相手から最良のパフォーマンスを引き出す。どんな演技ワークショップでも体験できない、

人間と人間の「対話」がここにある。

坂手洋二 (劇作家)

*コメントは2時間50分版のものになります



- 【第一部】(2時間10分)
- 第一章 避難 (44分)
- 第二章 仮設住宅 (26分)
- 第三章 悲憤 (25分)
- 第四章 農業 (35分)
- 【第二部】(1時間25分)
- 第五章 学校 (45分)
- 第六章 原発労働者 (24分)
- 第七章 汚染 (16分)
- 【第三部】(1時間45分)
- 第八章 二つの原発事故 (15分)
- 第九章 構造と抵抗 (34分)
- 第十章 喪失 (41分)
- 最終章 故郷 (15分)

原子力発電所の事故の被害者たちが、受けた心の傷を、その本人たちが、あくまでも静かに、そしてあくまでも深く掘り下げて語るのを、

真剣に聞く映画です。

人々の表情が、口調が、これほど雄弁に一つの深い思いに結集した映画が、これまでにあっただろうか、私は驚き、感動しました。

まれにみる

ドキュメンタリーです。

佐藤忠男 (映画評論家)



完全版!

5時間20分の27人の証言が映し出す

- 片岡輝美
- 草野美和
- 星ひかり
- 松本徳子
- 佐藤章一
- 山田隆信
- 小林恒司
- 佐久間いく子
- 渡辺洋子
- 野口時子
- 中村和夫
- 地脇美和
- 大河原多津子
- 小野田敏之
- 小野田敏之
- 池田実
- 小澤洋一
- 今野寿美雄
- 若松丈太郎
- 村田弘
- 武藤類子
- 佐藤和良
- 杉下瀧子

藤島昌治
1946年生まれ。南相馬市小高町出身。原発事故後、南相馬市の仮設住宅に入居し、4年間、自治会長を務めた。その間、独り暮らしの心情や「仮設暮らし」から見える社会の歪みを詩に綴り、詩集を出版。

小野田陽子
1969年生まれ。原発事故当時、双葉町の小学校5年生の担任。事故直後から、各地に避難した子どもたちの近況を伝える手書きの「学年便り」を送り続けた。避難した子どもたちの心情を語る。

岡部理恵子
1988年生まれ。原発事故当時は2歳と生後1ヵ月の子の母親。半年後に子供とともに郡山市から新潟県に自主避難。郡山市に残って働く夫は、ほぼ毎週「新潟へ通い続けるが、避難が長引くにつれ夫婦間の溝が広がっていく。

杉下初男
1949年生れ。「帰還困難地域」の飯館村長泥地区の農家。脱サラして始めた石材加工の事業が軌道に乗る、家も新築。しかし間もなく、原発事故で故郷を追われ、家も生業も失い、さらに追い打ちをかける出来事が起こる。

いまなお続く“深い思い”

監督・撮影・編集：土井敏邦 整音：藤口諒太 朗読・題字：高橋長英 写真：森住卓 挿入歌：「ああ福島」(李政美) 宣伝美術：野田雅也 ウェブサイト：安藤滋夫 後援：城南信用金庫 配給：きろくびと・ヒカフィルム 2018年/日本/カラー/320分

2019年度文化庁映画賞文化記録映画優秀賞受賞を受け 5時間20分の完全版を特別上映!

トークゲスト決定!

- 3/10(火) 高橋長英 (俳優/本作朗読)、榎原崇仁 (東京新聞記者)、土井監督
- 3/11(水) おしどりマコ・ケン (芸人/記者)、村田弘 (本作出演)、土井監督
- 3/13(金) 高橋長英 (俳優/本作朗読)、土井敏邦監督

特別前売券 2400円発売中! (当日均一料金 3000円の処)

3/10(火) - 11(水)
13:00~

渋谷・文化村交差点左折

ユーロスペース
EUROSPACE

TEL: 03-3461-0211

euospace.co.jp

3/13(金)
時間未定

京浜急行黄金町駅5分

市営地下鉄 阪東橋駅5分

シネマ
横浜 ジャック&ベティ

TEL: 045-243-9800

jackandbetty.net